

## <R7年度茅ヶ崎スポーツ少年団種目別交流大会【野球の部】企画・運営会議-2025/2/22 議事録->

開催場所：青少年会館 クラブ室 1

開催日時：2025年2月22日(土) 18:00~20:00

出席者：増川委員長、スポ少所属野球チーム9団体(平和、三ヶ丘、親和、松浪、鶴スト、香川、フェニックス、梅田、若草)

### ●概要

- ・2025年の茅ヶ崎スポーツ少年団種目別野球大会の運営方法について、去年度の反省をふまえた改善案に対し、参加者全員で議論を行い、大筋で合意した。
- ・前段、スポ少常任委員会より、種目別大会の格式を上げて盛り上げて登録団減少に歯止めをかけたといった主旨報告があった。
- ・令和7年度の日程は、1部は8/2・8/16・8/17・8/23の4日間にて芹沢球場+各小学校、2部は9月(詳細未定)、3部は10月(詳細未定)。
- ・大会運営の課題として、特に1部の開催内容について、他大会日程の重複・猛暑対策・日程内に収めるための方策など、具体的な議論がかわされた。
- ・協賛企業として大型店舗連絡協議会がスポンサーとなり、メダルや飲料水、横断幕などの提供が確認され、Tボール大会の普及やスポ少としての価値を高めるためのアイデアも議論された。
- ・次回の本改善委員会は6月14日(日)18時~予定。

### ●はじめに<茅ヶ崎市スポ少常任委員会\_青戸さん(鶴スト代表)>

先日、松林・矢畑のスポ少脱退の知らせがあり、常任委員会内でも登録団の減少について危機感が高まってきている。矢畑はお金の流れ(JSPO指導者登録が高額、毎年の登録料が上位の県や全国に上納される仕組みが不明瞭)が理由。松林は不明。

そこで、種目別野球大会の格式を上げて盛り上げるべく、企画・運営会議を開催することとした。スポ少として登録するメリットを明らかにし、時代背景に沿った改革を実践する。

具体的には、お金を出したことに対する対価・野球協会との連携(種目別大会と市大会の調和<日程や3部トス or ティーボールなど>)などが課題である。

また、ティーボール大会を市全体としてのイベントとして昇華することにより、野球というスポーツの普及活動とするなどの方策を実践することで、ひいては、子どもの活性を上げることに貢献できる組織を目指したい。

種目別野球大会は大型店舗のスポンサーがついた予算も潤沢な大会。格式高い運営でこれに応えたいという思惑もある。

今日の企画・運営会議は「協議」の場、今年度の種目別(野球)をどう進めるべきか、運営方法について参加団体から意見を伺い検討していきたい。いかなる意見も否定せず、用意した資料ありきではない。

### ●令和7年度計画について

- 去年の反省・・・委員会がノーコントロールのままブロック予選実施。調整を当事者間とする試合が多かった。芹沢での試合も悪天候、ほかの大会との調整があり統一的ではなく、

11月までかかってしまった。そんなことで大会への参加意義を問われた。ある程度のガバナンスが必要。

- 今年度の方針・・・①日程を固定し、大会らしい運営とする。②1部、2部、3部の日程をわけ、重複出場を可能とすることで、選手の活躍の場を広げる。これら方針をもって、大会の格式とスポ少らしさをアピールする。

#### 1部について

開催日程：8/2・8/16・8/17・8/23の4日間(予備日8/3、8/23以降にもう1日)

場所：芹沢球場を基本とするが、8/2の何試合かと予備日は各小学校などで実施

#### 2部は9月

詳細未定、次回各チーム参加状況を確認

#### 3部は10月

詳細未定、次回各チーム参加状況を確認

### ●大会協賛について

大型店舗連絡協議会がスポンサー（たまや、ラスカ、イオン カギサン、ユーコープ、富士シティオ、イオンリテール、イトーヨーカドーは抜けた）

- ・メダルの提供（金銀銅各20個）、計10万円
- ・飲料水 30ケース（各団に配布用）
- ・写真展入賞者へのお米5Kg
- ・横断幕
- ・優勝旗、優勝カップ

※多大な寄付に対し、格式高い大会運営をもって応えたい⇒開会式/閉会式を必ず実施する

### ●大会運営での課題

#### ①大会日程の重複

- ・山本昌、浜銀との調整。調整範囲はどこまでとするのか。
- ・無限の日程調整はできない
  - ⇒試合時間をずらしてほしいなどのその日のうちの調整とし、日程の調整はしない方針がいい
  - ⇒現時点参加予定14チームなので、1回戦6試合と1回戦不戦勝同士の2回戦1試合を初日に実施する予定として、ある程度選択肢が広がるように検討してみてもどうか

#### ②大会日程について

- ・8/2,16,17,23の4日間@芹沢球場ですべて消化できるとは思っていない。
- ・天候等で順延の場合の考え方、予備日・グラウンドの確保
  - ⇒8/2は、6～7試合をこなさなければならず、芹沢だけでは消化できない。開会式後、小学校での実施を検討。
  - ⇒浜須賀小学校<平和/三ヶ丘>・梅田小学校<梅田/若草>を候補とする(会場提供チームの組み合わせを先に決めるのはあり。抽選前に直接当たらないように山を分ける)
  - ⇒8/2の予備日は8/3にし、8/3の会場確保は動き始める。8/16の予備日は8/17、8/17の

予備日は 8/23、8/23 の予備日はもう一日抑える。

- ・ダブルヘッダーはなし
- ・茅ヶ崎 9 チーム + 寒川 3 か 4 チーム + 湘南エース

### ③猛暑対策

・子供が倒れたことを大会の責としたチームがあった。子供の体調を超えての大会参加はだれの責任なのか？子供の体調管理を各チームのモラルに任せるのは乱暴。

- ・ある程度のルールが必要。

⇒具体的な熱中症対策を検討していく(以下、事例案)

・熱中症アラートを参考にし、開催の有無や試合時間変更を行う。ただし、去年は毎日が危険となっていた。

・yahoo 熱中症情報にて極めて危険/危険の時間帯を避ける。去年の事例だと、午前中 2 試合と夕方 1 試合の 3 試合が限界か？誰でも確認できるメリットがあり、臨機応変に対応可能。

・試合の中断・再開の考え方

・去年は県のスポ少の方針決定に従った認識。出てくれば従わざるを得ない。(実は間違い。茅ヶ崎スポ少で決めている)

・早朝何時から利用できるのか？(球場側と交渉が必要。)少しでもプレーボールを早くできないか？近隣を考慮し、声だしは 8:30 から(ルール)の為、試合開始は 8:30 とするか？

### ④その他議論内容(前述記載内容と重複差異あり)

・8/2 中止の場合は開会式はやらない。開会式は 8/2 芹沢で決定 1 部～3 部全員参加。第 1 試合チーム以外は駐車 1 台

・閉会式は 1 部 2 部それぞれ決勝後に実施

・2 回戦芹沢 4 試合はできるのか？(AM2 試合、PM1 試合だと 1 試合あふれる)

⇒8 時から開始、1 試合 90 分、18 時終わりなら 4 試合できそう

・シード枠を獲得したチームは 8/2 に 2 回戦をやっておく案は有効？

・当該審判は避ける

・提供グラウンドの会場責任者を決める。円滑な運営のため、すべてを増川種目別委員長の判断を求めず、試合開始時間、グラウンドルール、当日の試合順番など基本的な進行に関しては試合会場の責任者が判断とする。

・スポ少だから、最低 2 試合(初戦負けても交流戦という形でもう 1 試合)となっていたが、グラウンド、日程調整の関係で今年は難しい。純粋なトーナメントとして交流戦(初戦敗者含め各チーム最低 2 試合実施)は控える。

・来年度以降、スポ少として芹沢 5 日間(現状 4 日間)とるのは交渉余地あるが難しい。2026 年の優先予約はすでに決まっている。

・日程のうち 1 日公園球場をとるのは？⇒野球協会と交渉が必要。球場グラウンド使用の優先は圧倒的に社会人大会(100 チーム以上あるため)。過去の経緯から野球協会とスポ少との連携は不透明。スポ少常任委員会の宿題。再来年以降、1 日増やす交渉をする。野球協会との交渉は常任委員会内の改善委員会に一任。実現するのは 2027 年大会以降。

- ・茅ヶ崎市以外の他地区では、スポ少県大会への切符をかけた大会とし、5月ころに選抜大会を実施。
- ・スポ少県大会への参加は令和7年は梅田、令和8年は親和。それで輪番制が1巡するので、令和9年から0ベースで運営検討。
- ・試合日程をチームの都合で替えることはNG（棄権）、その日の時間をずらすことはOK
- ・2部、3部のエントリー数の把握。今日決めたいのは2部、3部の大会について固めるのがいつ頃か。6月ころ決める。2部、3部の開催要綱を提示する。1部の要綱は早めでもいい。極力全団体に参加してほしい。
- ・Tボールは3年生以下（4年生の参加（救済措置）は危険性を考慮し決める）Tボールはあくまで親善大会。勝敗にかかわらず試合数を決めて実施。
- ・Tボールはスポ少加盟以外のチームでもスポ少チームとの合同であれば参加OKとする（登録促進措置）。
- ・1部の要綱を参考に2部、3部の案を作成
- ・5月総会の案を吟味し、6月に向けて意見が欲しい
- ・スポ少大会 LINE グループの登録。総会(4/20)までに連絡係を確定。LINE グループへの招待・退会でいいのでは？引継ぎをしっかりとるように周知する。

**★次回会議日程： 6月14日(土)18時～詳細案内は別途連絡**